Annual Report 2017

特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会

2017年度年次報告書

代表理事挨拶

本協会は、本年 26 年目を迎えます。昨年度は、90 大学の学生 4,100 名が所属し、500 を超える事業を行い、延べ 2 万人以上が社会に貢献するボランティア活動に参加しました。

世の中を見ると、世界は至る所でテロや紛争が噴出し、目を覆いたくなる惨劇が起こっており、世界全体の不安定さの広がりを感じずにはいられません。

また、日本においても、これらの惨劇が起きないという保証はありません。さらに、日本には独自の課題である人口減少、高齢化といった大きな問題を抱えています。この課題に対しては、社会全体を安定的に縮小させる以外にないのではないかと思えます。

経済を中心に多様化した価値観が存在する現代社会は、「人々が共に生きる」ということを問い直す必要があるのではないでしょうか。もちろん物質的な豊かさは必要ですが、人が幸福と感じるには、精神的な豊かさ、すなわち「心豊かに生きる」ということが必要ではないかと考えています。

学生たちは、一見縁もゆかりもないような人たちのために、汗と涙を流し、時に挫折感を味わいながらも、心が震えるような感動を味わっています。それは、自己成長を前提としながらも、人に必要とされていることを「やりがい」や「使命感」と捉え、その充実感によって、彼らは心豊かに生きています。

彼らのように、社会を構成する一人ひとりが、生きがいややりがいを持って生き、それを社会貢献に繋がっていく仕組みが、今の日本に必要ではないかと考えています。

また、持続可能な地域づくりのためには、ボランティア活動だけでなく、雇用機会を創出し、「お金が回る」仕組みを作る事業が欠かせません。

これらの考え方をベースに、今年度から、本協会の卒業生を含むネットワークを駆使し、本協会が関わっている地域や住民と一緒になって、社会的課題解決のための持続可能なビジネスモデルを創造する社会起業家を育てていきたいと考えております。

これまで、ご支援・ご協力を頂いておりますことを心から感謝申し上げるとともに、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018 年 7 月
特定非営利活動法人　国際ボランティア学生協会

代表理事

下村誠

25期学生組織図

■運営本部
各クラブ運営の管理・サポートをします。
■総合企画室
IVUSA 全体の会議やスケジュールを管理します。
■事業戦略本部
IVUSA 全体で行う事業の運営・プロデュースをします。
■人材養成本部
IVUSA で行われる全ての研修の開発・運営をします。
■広報部
IVUSA の認知向上のために情報発信をします。

学生代表

関西大学 4 年
水口 裕喜

総合企画室

室長

同志社大学 4 年
豊福 冴子

副室長

法政大学 4 年
秋山 徳太郎

広報部

西日本運営本部
本部長

同志社大学 4 年
大野 恵莉菜

西日本運営本部
副本部長

龍谷大学 4 年
江角 隆宏

西日本運営本部
副本部長

関西大学 4 年
谷澤 果穂

クラブ

- 事業部長
- 各部会長
- クラブマネージャー
- スタッフマネージャー
  - 班
- アドミニストレーションマネージャー

東日本運営本部
本部長

東洋大学 4 年
澁谷 拓也

東日本運営本部
副本部長

国士舘大学 4 年
内山 咲希

東日本運営本部
副本部長

日本大学 4 年
田川 雄士

クラブ

- 事業部長
- 各部会長
- クラブマネージャー
- スタッフマネージャー
  - 班
- アドミニストレーションマネージャー

事業戦略本部

本部長

法政大学 4 年
西 優凛

副本部長

東洋大学 4 年
佐藤 良賢

副本部長

龍谷大学 4 年
坂本 愛

副本部長

立命館大学 4 年
山口 日向

- 事業推進マネージャー
- ファンドレイジングマネージャー

人材養成本部

本部長

法政大学 4 年
久保 知也

副本部長

京都外国語大学 4 年
長町 敬一

- インストラクター
- マイスター

IVUSA ハイライト 2017

会員数が 4,000 人を突破し

関東・関西・長崎を中心に各大学クラブで会員の勧誘活動
規模となりました。
災害が多発し、地方において少子高齢化が進み地域の担い
中、今後、社会は学生そして若者の力をますます必要とする
そのような社会的なニーズを受け、IVUSA は将来的に 1 万
組織整備を進めていきます。

子ども向け減災学習ウェブ教材を開発しました。

独立行政法人国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金」子ども向け教材開発・普及活動に対する助成金を受け作成しました。タイトルは、「これなら、デキる！！できることから始める！ボクたち、ワタシたちの『減災アクション』」です。

災害時に子どもたちができるアクションから災害の種類や発災直後の対処法、平時から災害に備えてできることまで包括的・総合的なコンテンツを展開しています。

その中でも、「災害リスク」をどう減らすかという視点から、キャリア形成や居住地の選択まで踏み込んで言及しているのはこれまでの防災・減災学習にはなかったものです。

今後は、子どもたちと年齢の近い大学生がインストラクターとなって、この教材を使った防災学習やワークショップなどを実施していく予定です。

URL：http://gensaiaction.net/

ました。

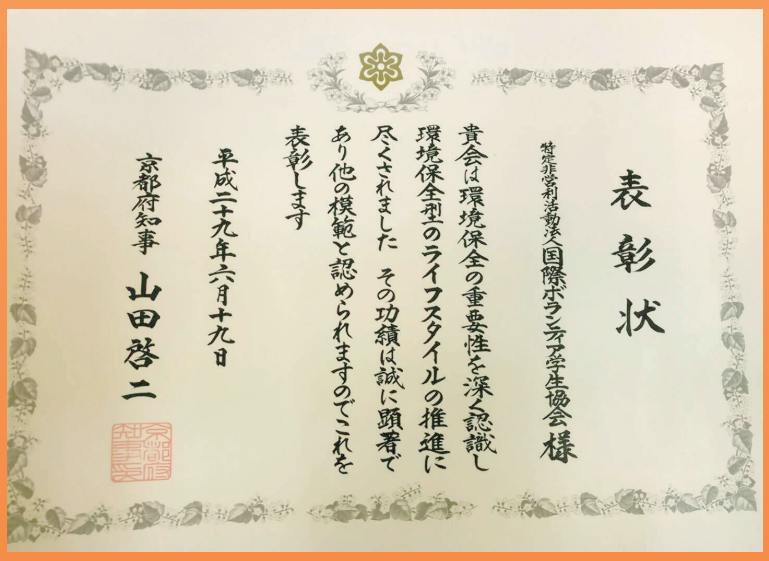
を行い、約 4,100 名の会員

手不足に悩むところが多い
ようになるでしょう。
名の組織としていくべく、

京都府の丹後広域振興局との協定を締結、京都府環境保全功労者表彰を受賞

2017 年 6 月に、阿蘇海環境づくり活動や京都府日本海清掃活動の取り組みを評価いただき、京都府知事より平成 29 年京都府環境保全功労者表彰を受賞させていただきました。

また、8 月には、京都府丹後広域振興局と当協会が阿蘇海環境づくり活動などのノウハウを活かし、丹後地域全体の活性化に寄与するための包括連携協定を締結しました。



表彰状

特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会 様

貴会は環境保全の重要性を深く認識し
環境保全型のライフスタイルの推進に
尽くされました その功績は誠に顕著で
あり他の模範と認められますのでこれを
表彰します

平成二十九年六月十九日

京都府知事 山田啓二

大津市でも生活困窮家庭の子ども向けの学習支援事業がスタート

2017 年度、大津市より運営委託を受け、経済的な理由で学習が困難な児童に学習の場を提供し、学力の向上を目指した支援事業を実施しました。IVUSA では 2014 年 9 月より京田辺市の委託を受けて同様の学習支援事業を実施しており、生活困窮家庭向け学習支援事業としては 2 件目の受託となります。

日本では、生活保護世帯で育った子どもの約 4 分の 1 が、大人になって再び生活保護を受けると言われ、育った家庭環境が世代をこえて連鎖する「貧困の連鎖」が問題となっています。

この学習支援事業では、こうした「貧困の連鎖」を防ぐことを目的としています。また、教える側である大学生たちも、勉強を教えるだけではなく、様々なことを学ぶ、学び合いの場となっています。

事業一覧

国際協力

■第13次中国緑化活動

日時:9月2日～9月11日
場所:中華人民共和国北京市、内モンゴル自治区オルドス市ダラト旗
参加人数:IVUSA参加者29名、一般参加者76名（ダラト旗青年9名、引率者1名、北京中央民族大学39名、参加教師等1名、ダラト旗林場スタッフ2名、ダラト旗カウンターパートスタッフ等4名、北京カウンターパート等5名、ダラト旗交流会関係者15名）
活動内容:植林、煉瓦道敷設、日中友好ワークショップ(意見交換会)、交流プログラムなど
カウンターパート:中華全国青年連合会、中国国際人材交流中心

■第11次インド生活支援活動

日時:2月14日～28日
場所:インド共和国デリー、ケララ州アラップーザ、コーラム、カルナタカ州バンガロール
参加人数:71名
活動内容:浄水フィルターの設置、インド人大学生との交流会
カウンターパート:M.A.Math

■カンボジア子ども教育支援活動

日程:2月28日～3月9日
場所:カンボジア王国コンポンチャム州ソテントロン郡
参加人数:65名
活動内容:過去に建設した学校の訪問、企画の実施、カンボジアの子どもたちや学生との交流
カウンターパート:KHJ Construction Co.ltd

■フィリピン減災環境保全活動

日程:8月30日～9月7日、2月27日～3月8日
場所:マニラ、ヌエバエシハ州ラオ―市、リザール州レイバン地区
参加人数:延べ54人
活動内容:カウンターパートとのMOU（協定）締結、フィリピンの環境防災の専門機関の訪問、清掃活動道路建設、用水路の整備、高校との協働でエコブリックス（ペットボトルにプラスチックごみを入れて再利用する）、小学校での文化交流、ゴミ処理のための穴掘り、ミリアム大学がプロジェクトを行っている地区の見学
カウンターパート：ラオ―市バランガイピナグバヤナンの協同組合KADRE、Bridges of Inter-cultural Harmony Inc.

■「第1回SDGs × Youth　知ろう。語ろう。見つけよう。」に参加

5月27日に「第1回SDGs × Youth　知ろう。語ろう。見つけよう。」のイベントが実施され、約300名が来場しました。このイベントは、国連開発計画（UNDP）とIVUSAをはじめとする13の学生団体が協力して開催し、日本の若者にもっとSDGs（持続可能な開発目標）について知ってもらい、自分事として捉えてもらうことを目的としています。

IVUSAをはじめ13の学生団体がSDGsのゴールのブースを担当しました。

■留学生の交流会

日程:9月26日
場所:東京都渋谷区 代々木公園
参加人数:19名
活動内容:日本語就学生150名との交流イベントの実施
カウンターパート：青山国際教育学院

環境保護

■琵琶湖外来水生植物除去大作戦

【除去活動】
赤野井湾再生プロジェクトオオバナミズキンバイ・ごみ除去作業（協力）
6 月 25 日、守山市赤野井湾、36 名
立命館大学体育会本部オオバナミズキンバイ除去活動（協力）
8 月 2 日　大津市サンシャインビーチ、30 名（1,148 名の立命館大学体育会本部の学生、24 名の滋賀県職員も参加）
琵琶湖外来水生植物除去大作戦 2017（主催）
9 月 8 日～ 10 日、琵琶湖南部、参加者 514 名
赤野井湾・小津袋クリーン大作戦（協力）
12 月 17 日、守山市赤野井湾、参加者 26 名

【広報活動】
琵琶湖の日オオバナミズキンバイ観察会（主催）：
　7 月 1 日、大津湖岸なぎさ公園・大津中央公民館、参加者 22 名
えふえむ草津「イブロケ 785FRIDAY」（協力）：
　8 月 4 日、滋賀県草津市、参加者 5 名
マザーレイクフォーラムびわコミ会議（協力）：
　8 月 26 日、大津市コラボしが 21、参加者 8 名
イナズマロック「おいで～な滋賀体感フェア」（協力）：
　9 月 16 日、滋賀県草津市・烏丸半島、参加者 6 名
びわ博学生ミーティング（協力）：11 月 4 日、琵琶湖博物館、参加者 3 名
大津市環境情報合同交流会（協力）：
　11 月 18 日、大津市ピアザ淡海、参加者 3 名
草津市　みんな de トーク（協力）：
　11 月 24 日、滋賀県草津市立水生植物公園、参加者 1 名
第 17 回草津市こども環境会議（協力）：1 月 27 日、草津市役所、参加者 3 名
第 11 回淡海の川づくりフォーラム（協力）：
　2 月 4 日、滋賀県危機管理センター、参加者 5 名

■千葉県九十九里浜全域清掃大作戦

日時 :8 月 21 日～ 8 月 23 日
場所 : 千葉県九十九里浜全域
参加人数 :381 名
活動内容 : 海岸清掃、一年生現場研修
カウンターパート : 旭市環境課、いすみ市環境水道課、一宮町都市環境課、大網白里市企画政策課、九十九里町産業振興課、山武市わがまち活性課、白子町総務課、匝瑳市環境生活課、長生村下水環境課、横芝光町環境防災課　支援：加藤光男（五郎八金物店 店主）

■長野県北信地域森林整備活動

日程 :8 月 6 日～ 9 日
場所 : 長野県信濃町長野市
参加人数 :99 名
活動内容 : 鳥獣害対策の緩衝帯整備、樅が崎県有林の下草刈りなどの森林整備
カウンターパート : 長野県庁

■京都府阿蘇海環境づくり活動

4 月①　日時 :4 月 16 日　場所 : 京都府宮津市、舞鶴市　参加人数 :6 名
活動内容 : カキ殻散布、カキ殻を使ったレンガ造り
カウンターパート : 京都府丹後広域振興局

4 月②　日時 :4 月 29 日～ 30 日　場所 : 京都府与謝野町　参加人数 :7 名
活動内容 : 河川清掃、祭りのお手伝い、交流会
カウンターパート : 京都府丹後広域振興局

7 月①　日時 :7 月 2 日　場所 : 京都府宮津市　参加人数 :3 名
活動内容 : 阿蘇海環境づくり活動の PR
カウンターパート : 京都府丹後広域振興局

7 月②　日時 :7 月 8 日～ 9 日　場所 : 京都府与謝野町　参加人数 :8 名
活動内容 : 清掃活動、アオサ回収
カウンターパート : 京都府丹後広域振興局

8 月　日時 :8 月 25 日～ 28 日
場所 : 京都府宮津市、与謝野町、京丹後市　参加人数 :107 名
活動内容 : カキ殻回収、カキ殻散布、カキ殻活用企業の見学、環境学習会、牡蠣商品開発、交流会　カウンターパート : 京都府丹後広域振興局

10 月　日時 :10 月 7 日～ 9 日　場所 : 京都府与謝野町　参加人数 :7 名
活動内容 : 河川清掃、交流会　カウンターパート : 京都府丹後広域振興局

2 月　日時 :2 月 24 日～ 27 日
場所 : 京都府宮津市、与謝野町、京丹後市　参加人数 :105 名
活動内容 : カキ殻回収、カキ殻散布、カキ殻を活用した商品を製造販売する企業の展示会、交流会

3 月　日時 :3 月 12 日～ 13 日　場所 : 京都府京丹後市　参加人数 :6 名
活動内容 : 放置竹林の整備、竹とカキ殻を使った土壌改良材づくり、交流会

■千葉県印旛沼クリーン大作戦

日程 :8 月 10 日～ 12 日、9 月 12 日
場所 : 千葉県印西市神崎川、八千代市桑納川
参加人数 : 延べ 118 名
活動内容 : 印旛沼周辺に繁茂している外来水生植物である「ナガエツルノゲイトウ」の駆除
カウンターパート : 千葉県庁、印旛沼流域水循環健全化会議

■山形県日本海清掃活動

日時 :8 月 31 日～ 9 月 4 日
場所 : 山形県酒田市山形県遊佐町
参加人数 :IVUSA154 名山形県内大学生 26 名
活動内容 : 海岸漂着ゴミ回収
カウンターパート : パートナーシップオフィス

■京都府日本海清掃活動

日時 :11 月 25 日～ 26 日、3 月 3 日～ 5 日
場所 : 京都府京丹後市
参加人数 : 延べ 115 名
活動内容 : 海岸清掃、交流会
カウンターパート : 京丹後市

■竹林整備活動

日時 :5 月 21 日、6 月 18 日、8 月 27 日、9 月 16 日～ 17 日、11 月 26 日、12 月 17 日、3 月 17 日～ 18 日、3 月 25 日
場所 : 神奈川県横浜市「こどもの国」
参加人数 : 延べ 296 名
活動内容 : 園内の竹林の整備
カウンターパート : 社会福祉法人こどもの国協会

■外来種（ワルナスビ）除去活動

日時 :7 月 2 日
場所 : 東京都江東区 大島小松川公園
参加人数 :55 名
活動内容 : 外来植物のワルナスビが繁殖した公園内での除去活動による環境整備と、プロジェクト実務研修の合同開催
カウンターパート : 株式会社日比谷アメニス、大島小松川公園サービスセンター

■新潟県佐渡市日本海清掃調査隊

日時 :3 月 21 日～ 23 日
場所 : 新潟県佐渡市
参加人数 :7 名
活動内容 : 活動実施に向けた海岸線の視察と関係各所への挨拶
カウンターパート : 新潟県佐渡市役所

■山口県萩市日本海清掃調査隊

日時 :3 月 26 日～ 27 日
場所 : 山口県萩市見島
参加人数 :5 名
活動内容 : 県庁市役所等へのヒアリング、海岸や地域の調査
カウンターパート : 山口県庁、萩市役所

・・・・地域活性化・・・・

■三重県熊野市活性化活動

日程 :8 月 5 日～ 8 日、8 月 15 日～ 19 日、10 月 28 日～ 29 日、2 月 22 日～ 25 日
場所 ; 三重県熊野市
参加人数 : 延べ 358 人
活動内容 :「熊野大花火大会」運営補助、フィールドワーク、地元住民との交流会、市民学生での地域の資源活用について考えるワークショップの実施
カウンターパート : 熊野市、熊野市観光協会、熊野サミット実行委員会、荒坂地区地域まちづくり協議会、飛鳥地区地域まちづくり協議会、五郷地区地域まちづくり協議会、神川地区地域まちづくり協議会、育生地域まちづくり協議会、西山区地域まちづくり協議会、丸山地区地域まちづくり協議会、上川地区地域まちづくり協議会、響鼓 in 熊野実行委員会

■新潟県関川村活性化活動

日程 :8 月 25 日～ 28 日、2 月 3 日～ 5 日、2 月 9 日～ 13 日
場所 : 新潟県岩船郡関川村
参加人数 : 延べ 307 人
活動内容 :「大したもん蛇まつり」「大石どもんこまつり」「七ヶ谷雪ほたる」運営補助、フィールドワーク、地元住民との交流会
カウンターパート：関川村、大石山と川に親しむ会、タランペクラブ

■長野県飯山市活性化活動

日程 :2 月 8 日～ 12 日、3 月 8 日～ 12 日
場所 : 長野県飯山市
参加人数 : 延べ 163 名
活動内容 :「いいやま雪まつり」と「信濃平かまくら祭り」の運営補助、「戸狩光の祭典」の企画実施
カウンターパート : 飯山みゆき野有志の会、いいやま雪まつり実行委員会、かまくら祭り実行委員会、戸狩温泉スキー場株式会社

■新潟県十日町市活性化活動

日時 :2 月 16 日～ 19 日、3 月 9 日～ 11 日
場所 : 新潟県十日町市
参加人数 : 延べ 189 名
活動内容 :「十日町雪まつり」の運営補助、子ども向けブースの企画運営、「雪原カーニバル」の運営補助、子ども向けブースの企画運営、地元中学生と雪像づくり（課外授業の受入）、交流会
カウンターパート : 十日町市役所中里支所、公益社団法人十日町青年会議所（JC）

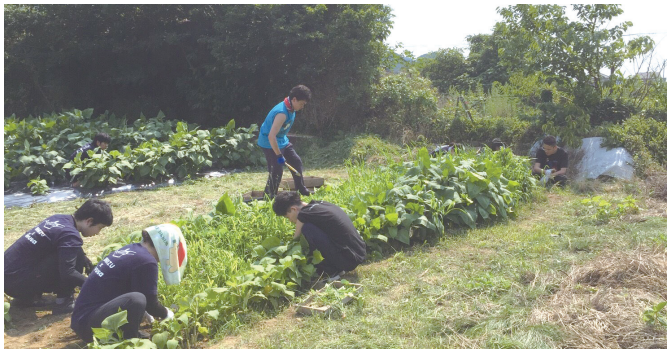
■新潟県長岡市栃尾地区ふるさとづくり活動

6 月 16 日～ 18 日　子ども隊（愛児園）、6 月 30 日～ 7 月 2 日　子ども隊（双葉寮）
8 月 1 日～ 4 日　長岡まつり活性化活動、8 月 25 日～ 28 日　とちお祭活性化活動、10 月 6 日～ 8 日　子ども隊（双葉寮）、11 月 10 日～ 12 日　子ども隊（愛児園）、2 月 9 日～ 11 日　裸押し合い祭り活性化活動、3 月 10 日～ 12 日　ほだれ祭り活性化活動
参加人数 : 延べ 444 名
※「子ども隊」とは児童養護施設の子どもと大学生が一泊二日で交流するプログラムのことです。

■岡山県備前市日生諸島活性化活動

活動 :9 月 15 日～ 18 日、3 月 2 日～ 5 日
場所 : 岡山県備前市日生町　頭島、大多府島、鹿久居島
参加人数 : 延べ 184 名
活動内容 :1day 里海のテーマパーク運営（イベント実施）、頭島島内の看板調査活動、海岸整備活動、フィールドワーク、ワークショップ等
カウンターパート : 備前市、備前市観光協会

■静岡県西伊豆町活性化活動



日程 :5 月 20 日～ 21 日、7 月 8 日～ 9 日、8 月 14 日～ 17 日、9 月 15 日～ 17 日、11 月 2 日～ 4 日、2 月 22 日～ 26 日
場所 : 静岡県賀茂郡西伊豆町
参加人数 : 延べ 265 名
活動内容 : ヤーコンの作付から収穫までの畑の管理、田子みなと祭りの運営補助、安良里夏祭りの運営補助、クールタウンフェスの企画実施
カウンターパート : 西伊豆町役場、西伊豆町まちづくり協議会

・・・災害救援 ◆ 防災・・・

■平成 29 年 7 月九州北部豪雨救援活動

日程 :7 月 12 日～ 17 日、7 月 28 日～ 31 日、8 月 9 日～ 13 日
場所 : 福岡県朝倉郡東峰村、朝倉市
参加人数 : 延べ 224 名
活動内容 : 家屋内の床板剥がし、床下のヘドロ掻き、消毒、家屋内や敷地内に堆積した土砂の搬出など
カウンターパート（助成）: 公益財団法人車両競技公益資金記念財団

■平成 29 年 7 月秋田県豪雨災害救援活動

日程 :7 月 28 日～ 8 月 4 日
場所 : 秋田県大仙市
参加人数 :52 名
活動内容 : 家屋周辺のがれきの除去、家財貴重品搬出、土砂だし、消毒、側溝水路の整備など
カウンターパート（助成）: 公益財団法人車両競技公益資金記念財団

■宮城県山元町東日本大震災復興支援活動

日程 :8 月 25 日～ 28 日、11 月 4 日～ 5 日、3 月 8 日～ 13 日
場所 : 宮城県亘理郡山元町
参加人数 : 延べ 338 名
活動内容 :IVUSA ファームの整備、地域の要望のあった箇所（側溝や井戸）の整備清掃、フィールドワーク、山元町「コダナリエ」青巣稲荷神社例祭運営補助、東日本大震災慰霊式準備、運営補助及び参列、沿岸部の松林整備
カウンターパート（助成）: 坂野文俊氏（普門寺住職お寺災害ボランティアセンター）、浄正寺、土曜の会メンバー、藤本和敏氏（青巣稲荷神社宮司）

■平成 29 年台風 18 号豪雨災害救援活動

日程 :9 月 29 日～ 10 月 2 日
場所 : 大分県津久見市
参加人数 :88 名
活動内容 : 床下などの土砂のかき出し、搬出、消毒、家財の運び出しやお宅の清掃など
カウンターパート（助成）: 公益財団法人車両競技公益資金記念財団

■東京都世田谷区での地域防災活動

日時 : 通年
場所 : 東京都世田谷区
活動内容 : 世田谷区内の NPO ネットワークを構築し、災害に備えた学習活動や、発災後の支援体制に向けた取り組みを行う。また、世田谷区災害対策課とともに、地域防災力向上に向けた講習会を区民対象に複数回開催。
防災啓発イベント参加開催等 15 回、区民対象講習会 13 回

・・子どもの教育支援・・

■滋賀県大津市学習支援

日程：通年（36 回、計 72 時間）
場所：滋賀県大津市瀬田付近
参加人数：延べ 222 名（利用生徒数延べ 289 名）
活動内容：経済的な理由で学習が困難な児童に学習の場を提供する
カウンターパート：大津市役所

■子ども向け減災学習ウェブ教材制作

独立行政法人国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金」子ども向け教材開発普及活動に対する助成金を受け、「これなら、デキる！！できることから始める！ボクたち、ワタシたちの『減災アクション』」を製作。
合わせて普及パンフレット学習ブックを製作するとともに、各地で体験会を実施。
http://gensaiaction.net/

■「ボッチャ」学生インストラクター養成及び普及事業

世田谷区との平成 29 年度「提案型協働事業」として実施。
インストラクターを希望する学生向けの説明会を計 5 回実施、38 名の学生が参加（6 月 13 日、7 月 5 日、7 月 11 日、7 月 20 日、7 月 25 日）。その後、LINE グループを作り、定期的に情報共有
専門指導員（東京都障害者スポーツ協会）を呼んでの講習会を 8 月 28 日に東京都内の大学で実施、10 名の学生が参加。その後、参加できなかった学生にフォローアップを 3 回実施。障害のある人とない人も共に楽しめるスポーツレクリエーション交流事業に 1 名参加（講習会：9 月 3 日、世田谷区区立松沢小学校。体験会：9 月 13 日、日本体育大学世田谷キャンパススポーツ棟）
松丘小新 BOP でのボッチャのイベントに 2 名参加（6 月 7 日）、世田谷区区政 85 周年記念イベント（10 月 8 日）のボッチャ体験コーナーで運営サポートに 5 名参加（264 名がボッチャ体験に参加）、祖師谷児童館でのボッチャ体験会（11 月 19 日）に 2 名参加。ふれあいフェスタ（12 月 3 日）のボッチャ体験コーナーで運営サポートに 4 名参加。
2 月 23 日にボッチャ体験会を松丘小新 BOP で実施。学生 8 名が参加し、児童は 28 人が参加

■京都府京田辺市学習支援

日程：通年（85 回、計 127.5 時間）
場所：京都府京田辺市新田辺駅付近
参加人数：延べ 336 名（利用生徒数延べ 502 名）
活動内容：経済的な理由で学習が困難な児童に学習の場を提供する
カウンターパート：京田辺市役所

・・・その他の事業・・・

■沖縄県戦没者遺骨収集活動

日時：2 月 20 日～ 2 月 26 日
場所：沖縄県南城市
参加人数：IVUSA170 名、沖縄県内大学生 7 名
活動内容：第二次大戦の戦没者の遺骨収集、平和学習
カウンターパート：沖縄平和祈念財団遺骨収集情報センター

■城下町おだわらツーデーマーチライフセービング活動

日時：11 月 18 日～ 19 日
場所：神奈川県小田原市
参加人数：23 名
活動内容：城下町おだわらツーデーマーチの救護補助（コースを伴歩し、傷病者の発生対応に備える）
カウンターパート：城下町小田原ツーデーマーチ実行委員会、小田原日本赤十字社

■東海防災サミット in 美浜

日程：3 月 21 日～ 23 日
場所：愛知県美浜少年自然の家
参加人数：65 名
活動内容：災害ボランティア入門、フィールドワーク、事例発表、今後のアクションプラン作り、講演①「災害ボランティアが果たす役割～被災地側の視点から～」（山本克彦日本福祉大学准教授）、講演②「“ やりたい ” が “ できる ”　災害ボランティア活動における学生の共働」（杉浦健共働プラットホーム代表ボランティアコーディネーター）
カウンターパート（共催）：特定非営利活動法人ボランティア活動推進国際協議会日本（JAVE）、愛知県美浜少年自然の家

■世田谷区市民活動支援コーナー運営

日程 : 通年
場所 : 世田谷区キャロットタワー 3 階
運営スタッフ数 :14 名
活動内容 : スペースの管理運営、市民活動相談、各種イベントの実施
カウンターパート（委託元）: 公益財団法人せたがや文化財団

■遺骨収集事業

日程 :1 月 30 日～ 2 月 15 日、1 月 31 日～ 2 月 9 日
場所 : 東京都小笠原村硫黄島、マリアナ諸島
参加人数 :6 名
活動内容 : 第二次世界大戦の戦没者の遺骨遺留品の回収と返還
カウンターパート : 一般社団法人 日本戦没者遺骨収集推進協会

■平成 29 年度だいご地域活動若者応援隊業務委託事業（京都市）

日程 :7 月 22 日、8 月 5 日、8 月 23 日、9 月 11 日、9 月 14 日、9 月 18 日、9 月 22 日、9 月 29 日、10 月 1 日、10 月 11 日、10 月 24 日、11 月 11 日、11 月 19 日、12 月 16 日、12 月 17 日、1 月 13 日
場所 : 京都府京都市醍醐地区の複数箇所　　参加人数 :71 名
活動内容 : 子どもへの学習支援、お祭りの運営補助、防災訓練お手伝い
カウンターパート : 京都市役所醍醐支所

研修等

■マネジメント研修（Management Training）

「企画を成功させるためのリスクマネジメント」を学ぶ。具体的には、目標や夢を達成するために障害（＝リスク）となるものを整理し、それに対する対応策を考えるプロセスを考える。
　一年間で延べ 4,421 名が受講。

■社会理解講習（SRT=Society Reflect Training）

　ボランティアは社会課題解決のために実施するということを理解し、プロジェクトを実施するそもそもの目的である社会的課題がなぜ引き起こされるかという社会的背景や構造を学ぶ。
　一年間で延べ 80 名が受講
※ 2017 年度から各プロジェクトの勉強会の中で実施する

■危機対応講習（CMT=Crisis Management Training）

　過去 25 年以上にわたる災害救援活動の現場で培ったノウハウ・知識・安全管理という考えを元に、誰もが身につけておくことが必要と思われる応急措置や身の回りの危機に対処する方法を学ぶ。
　一年間で延べ 2,203 名が受講

※その他にも、ボランティア活動や組織運営で必要なタスクごとの能力を身につけられる研修や、実務指導者（インストラクター、マイスター）を目指すためのスキルアップ、知識習得の講習のコースや、より専門性の高いスキルや知識の習得を目指した研修プログラムを以下のように随時開催。

■春合宿

【東日本】
日時 :5 月 27 日～ 28 日、6 月 3 日～ 4 日、6 月 18 日
場所 : 神奈川県足柄市 足柄ふれあいの村、日本大学砧キャンパス
参加人数 : 延べ 650 名
【西日本】
日時 :6 月 3 日～ 4 日、7 月 1 日～ 2 日
場所 : 大阪府枚方市野外活動センター、滋賀県高島市白浜荘
参加人数 : 延べ 699 名

■ LGBT 勉強会

日時 :7 月 9 日、16 日　　参加人数 :6 名
活動内容 :LGBT に関する基礎知識を学ぶ研修、当事者の体験談、パネルディスカッション

■秋合宿

【東日本】
日時 :11 月 11 日～ 12 日　　場所 : 東京都稲城市尽性園　　参加人数 :54 名
【西日本】
日時 :10 月 21 日～ 22 日　　場所 : 奈良県生駒市生駒山麓公園　　参加人数 :57 名

■役員合宿

日時 :12 月 27 日～ 28 日
場所 : 山梨県北杜市八ヶ岳ロイヤルホテル
参加人数 257 名

■ 26 期キックオフ合宿

【東日本】
日時 :2 月 14 日～ 15 日
場所 : 国士舘大学世田谷キャンパス
参加人数 :293 名
【西日本】
日時 :2 月 17 日～ 18 日
場所 : 東京都内の大学、大阪府内の大学
参加人数 :216 名

• 広報 ◆ 情報提供事業 •

■活動報告会

日程 :5 月 13 日、21 日
場所 : 東京都多摩市 パルテノン多摩大ホール、滋賀県大津市 大津市市民会館大ホール
参加人数 : 延べ 1,900 名
活動内容 :2016 年度の活動報告、災害シミュレーション劇、活動展示等

■第 6 回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会でのブース展示

日程 :3 月 3 日
場所 : 東京都渋谷区 国立オリンピック記念青少年総合センター
参加人数 :3 人
活動内容 : 全国学生ボランティア「アクションマーケット」（全国交流見本市）でブース展示

■「高校生ボランティアアワード 2017」にブース出展

日程 :8 月 9 日～ 10 日
場所 : 埼玉県さいたま市 さいたまスーパーアリーナ
参加人数 :3 名
活動内容 : 復興支援ブースを出展。物販と東日本大震災支援活動についての展示
カウンターパート : 公益財団法人風に立つライオン基金

■公式ウェブサイト運営

URL:https://www.ivusa.com/

■会員向け LINE@ 配信

月 2 回、年間 24 回配信
アカウント :@ivusa

■印刷物の発行

WE DO MORE Vol.23（5 月に発行）
2016 年度年次報告書（7 月に発行）

今後の事業の重点分野

IVUSA が現在、力を入れている事業を 2 つ紹介します。

海ゴミ問題

■社会的な背景

世界の海に漂うプラスチックのゴミの重量は、このままだと 2050 年までに魚の重量を上回ると警鐘を鳴らす衝撃的なレポートが、2016 年のダボス会議（世界経済フォーラム）の中で発表されました。

この問題は 2018 年 6 月の G7 サミットでも取り上げられ、日本と米国が海のプラスチックのゴミを減らすための数値目標を盛り込んだ文書に署名せず、環境団体に批判されるなど、社会からの注目が集まっています。

プラスチックをはじめとする海洋ゴミは、生態系を悪化させ、観光や漁業といった産業に打撃を与えており、かつ海洋ゴミは越境するため国際的な対策が必要不可欠です。

一方で、「海のゴミの 8 割は、街から来ている *」と言われており、都市部に暮らす人にとっても決して無関係な問題ではありません。

子どもの教育支援

■社会的な背景

2012 年の子どもの貧困率が 16.3%（約 6 人に 1 人）というデータは、社会に大きな衝撃を与えました。特にひとり親家庭の貧困率が 54.6% と、諸外国と比べても突出して高いのが特徴です。

それに対し、2013 年に子どもの貧困対策推進法が成立し、子ども食堂や無料の学習支援も広がっています。その結果、景気の回復もあり、2015 年には貧困率は 13.9% と大きく改善しました。

しかし、最も支援を必要としている社会的に孤立した家庭や子どもに対するアウトリーチはまだまだ不十分であり、児童虐待件数も増え続けています（2016 年度で 12 万 2,578 件）。

日本は子どもの教育に対して家庭が責任を持つ範囲が広く、親の置かれている状況がダイレクトに子どもの生育環境に影響を与えます。少子高齢化が進む中、以前にも増して子どもは「社会の宝」であり、社会が子どもの教育を支援していくことが必要です。

■IVUSA が取り組んでいる活動

子どもの成長段階に応じて、以下のようなプログラムを提供しています。

共に遊ぶ

遊びを通して社会性、自主性、自己肯定感、自己効力感を育成する

☞児童養護施設の子どもとの交流キャンプ（新潟県長岡市、神奈川県横浜市） ボッチャの普及・啓発、体験会（世田谷区との協働事業）

共に学ぶ

学習習慣を身に付け、進学意欲の向上させる

☞生活困窮家庭の子ども向けの学習支援
（大津市、京田辺市からの委託授業）

* 日本財団「海と日本 PROJECT」ウェブサイトより
https://umitomachi.com/sea-garbage/

■IVUSA が取り組んでいる活動

これまで山形県・青森県・京都府・長崎県等で「日本海清掃」キャンペーンを実施しており、千葉県九十九里浜の全域清掃を 2017 年度まで計 16 回実施しています。

また、各支部（クラブ）がある都市部においても定期的な清掃活動を行っています。

■今後の方向性

現在 IVUSA で実施している清掃活動を、「海洋ゴミ問題解決のためのプロジェクト」として統合していきます。そして学生一人ひとりが SNS を使って情報発信していくことを促します。

そして、海洋ゴミ問題の中でも日本海沿岸の漂着ゴミ問題にフォーカスし、今年度から新潟県佐渡市でも清掃活動を開始します（山口県萩市でも実施する予定でしたが、平成 30 年 7 月豪雨災害の救援活動に振り替えた関係で中止になりました）。

さらに、一般社団法人 JEAN やゴミ拾い・環境イベントポータルサイト「Blue Ship」等と協働して、海洋ゴミ問題解決のためのイベントやフォーラム等を実施し、一つの社会的なキャンペーンとしていくことを目指します。

共に動く

災害に対する対応力と、災害リスクの減らし方を身に付ける
自分の地域やまちづくりについて学ぶ
☞防災・減災をテーマにしたワークショップや勉強会、防災キャンプ
減災学習ウェブサイトの運営（http://gensaiaction.net/）

共に生きる

プログラムの担い手・作り手側になる（市民性＝シティズンシップの育成）
☞ボランティアリーダーの育成
地域のお祭りでのブースの運営（新潟県十日町市）

■今後の方向性

IVUSA はこのプログラム全体を「PeeR」と名付けました。これは、大学生ボランティアと子どもたちが上下ではなく仲間のような（Peer*）関係性の中で、お互いに学びや成長につながる場を作ることを目的としています。

その際には、「Passion」「Empowerment」「Enhance a feeling of pride」「Risk management」を重視しています。

共通のコンセプトや名称を使用することで、効果的な情報発信を進めるとともに、子どもたちとの接し方や指導法などを学生が学ぶ機会を充実させていきます。

*Peer は、同僚、同輩、同級生、仲間、友人、対等者などの意味を持つ英単語

交流型就活イベント　職コン〔jobcon〕2017

企業と学生の相互理解を深め、両者にとってよりよい出会いを創出することを目的に、企業ごとのブースセッション、人事担当者と学生の交流会をする「職コン」を以下のように実施しました。

これまで業界、規模は問わずさまざまな計 48 の企業・団体にご参加いただいており、参加後は参加企業へのインターン参加や選考活動への応募はもちろん、最終的に内定を獲得し入社を決めた学生もいます。

関東

日程：12 月 2 日（土）
会場：ハロー会議室　神保町
参加学生数：78 名
参加企業：
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、伊藤忠メタルズ株式会社、株式会社キッツ、西菱電機株式会社、大和ライフネクスト株式会社、東京サラヤ株式会社、NTT ファイナンス株式会社、パーソルテンプスタッフ株式会社、（計 8 社・順不同・敬称略）

関西

日程：12 月 16 日 (土)
会場：京都府中小企業会館
参加学生数：59 名
参加企業：
株式会社ネオキャリア、Stay JAPAN 株式会社、西菱電機株式会社、大和ライフネクスト株式会社、パイン株式会社、パーソルテンプスタッフ株式会社、フロントマネジメント株式会社（計 7 社・順不同・敬称略）

参加企業インタビュー

ＮＴＴファイナンス株式会社　水原 優 氏

IVUSA の学生さんは普段は能動的に社会のために活動している学生が多いと思うので、活動的な方が多い印象でした。職コンは、少人数の場ということもあり企業側としても話しやすいので、本当のことを聞く場として良いイベントだと思います。就活活動は人生において大きな節目だからこそ、できるだけ選り好みせず多くの会社に行って話して、その中で自分は何を目指し成長していくのか考えてほしいと思います。そうすると入社した時に働きやすいし、自分のビジョンに合致した人がいることでその人を目指し超えていくことで大成していくのではないかと思います。

大和ライフネクスト株式会社　松本　卓真　氏

もともと活動的な学生が多いとは思うのですが、元気な学生さんが多いのはとても良い印象でした。職コンに関しても、手作り感や自分たちで企画して作り上げていて、安心感や温かさがあってとてもいいと思います。弊社では、人に対する興味を持っているということを前提に、新しい物を生みだし、現状に疑問を持って行動していく学生を求めています。就職活動はつらいこともあるとは思いますが、自分のポリシーを貫き通すことが、社会人としての成功にも繋がります。自分のポリシーを持ってスタートすること意識してやってもらいたいなと思います。

西菱電機株式会社　森　功　氏

合説や個別の説明会に集まる学生より元気でした。発言もしっかりでき、話を聞く姿勢言動が前向きであると感じました。また、企業とのコミュニケーションも円滑にできているとも感じられました。今回の職コンは学生が企業の話を聞きやすい環境をつくっていたのを感じました。このように、全体的にバランスのよい学生と企業とのマッチングイベントはあまりないぶんすごく楽しめました。〝お客さんのことをどれだけ考えてサービス提供できるか〟を考えながら運営している点はビジネスにおいてとても重要であるため、運営層の３年生がこういった視点で運営できていることに感銘を受けました。

協賛一覧

春プロ

企業名	商品名	使用プロジェクト
エスケー石鹸株式会社	石鹸	第11次インド生活支援活動
シャボン玉石鹸株式会社	石鹸	第11次インド生活支援活動
サラヤ株式会社	ウィル・ステラVHジェル	カンボジア子ども教育支援活動
モンスターエナジージャパン合同会社	モンスターエナジーウルトラ	全プロジェクト
白金製薬株式会社	ひえひえ天国大人用	カンボジア子ども教育支援活動
公益財団法人日本バレーボール協会	バレーボール	カンボジア子ども教育支援活動
株式会社スワニー	手袋	飯山市活性化活動
株式会社ビジョン	ポケットwi-fi(レンタル) 15日間	第11次インド生活支援活動
	ポケットwi-fi(レンタル) 10日間	第4次フィリピン減災・環境保全活動
株式会社ヒマラヤ	サッカーボール	カンボジア子ども教育支援活動
	テニスボール	
	ロゴステッカー	
長野興農株式会社	りんごジュース缶(1ケース30本)	飯山市活性化活動
株式会社mama	焙煎米茶	飯山市活性化活動
	焙煎米茶業務用	
株式会社トーヨー	教育おりがみ10枚セット	第11次インド生活支援活動
タミワ玩具株式会社	木こま	第11次インド生活支援活動
	プラスチックこま8個入り	
	けん玉	
	なわとび	

夏プロ

企業名	商品名	使用プロジェクト
福徳産業株式会社	多目的除菌スプレーデオバイト5	平成29年九州豪雨災害救援活動
	High class Rabbit RABBIT BRAND KATSUNAKAJIKI	
	TSUNAGI(L)	
	TSUNAGI(LL)	
	軍手	
こだま食品株式会社	カリッと芋けんぴ	平成29年九州豪雨災害救援活動
	干し芋	
	ねぎ・ごま・のり入り薬味	
	ねぎ	
株式会社ユタカメイク	ブルーシート	印旛沼クリーン大作戦 琵琶湖外来水生植物除去大作戦2017
東京サラヤ株式会社	塩飴(レモン味)100g	印旛沼クリーン大作戦 栃尾ふるさとづくり活動「栃尾まつり」
	塩飴(マスカット味)100g	長野県北信地域森林整備活動 琵琶湖外来水生植物除去大作戦2017等
	クールリフレ70枚(クールシート)	東日本大震災復興支援活動 栃尾ふるさとづくり活動「長岡まつり」等
	サニサーラ40ml(手指消毒剤)	竹林整備活動
モンスターエナジージャパン合同会社	モンスターエナジーウルトラ	全プロジェクト
ライオン株式会社	バン汗ふきシート	第2回山形県日本海沿岸清掃活動 栃尾ふるさとづくり活動「栃尾まつり」等
ジェクス株式会社	虫よけミストタイプ	長野県北信地域森林整備活動 竹林整備活動等
株式会社マンダム	ボディペーパーサンプル	印旛沼クリーン大作戦 長野県北信地域森林整備活動等
	デオドラントスプレー	東日本大震災復興支援活動 第2回山形県日本海沿岸清掃活動等
ゼリア新薬株式会社	ステロイド軟膏	長野県北信地域森林整備活動
オーシャンライフ株式会社	ライフジャケット	印旛沼クリーン大作戦
田辺三菱製薬株式会社	アスパラドリンク	長野県北信地域森林整備活動
株式会社聖護院八ツ橋総本店	聖護院八ツ橋	フィリピンスタディツアー 第13次中国緑化活動
赤穂化成株式会社	熱中対策水500ml	琵琶湖外来水生植物除去大作戦2017
株式会社伊勢惣	釜煎り麦茶徳用パック55P入り	九十九里浜全域清掃大作戦 琵琶湖外来水生植物除去大作戦2017等
長野興農株式会社	りんごジュース缶	長野県北信地域森林整備活動
東罐興業株式会社	試飲用コップCP61－100ST(100個	熊野大花火大会活性化活動2017
MF株式会社	万能袋	印旛沼クリーン大作戦
株式会社ビジョン	ポケットwi-fi(レンタル) 10日間	フィリピンスタディツアー
	ポケットwi-fi(レンタル) 11日間	第13次中国緑化活動
株式会社オンザウェイ	IC-D60　無線機レンタルセット【5W】	琵琶湖外来水生植物除去大作戦2017
	固定局型IC-D5005レンタルセット	
	予備バッテリ	
	予備サービス	
ソラーレ株式会社	IP無線機 IP500H(レンタル)	琵琶湖外来水生植物除去大作戦2017□
	スピーカーマイク(レンタル)	
	GPS端末設定料	
	GPSセット	
	IP無線機 IP500H(レンタル)	九十九里浜全域清掃大作戦
	GPS端末設定料	
	GPSセット	
株式会社ボルート	ドローン(レンタル)	九十九里浜全域清掃大作戦 琵琶湖外来水生植物除去大作戦2017等

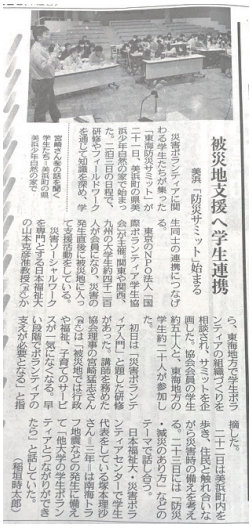
メディア掲載

阿蘇海環境改善などで事業

特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会と京都府丹後広域振興局との包括連携協定締結式

京都府丹後広域振興局との包括連携協定の締結

産経新聞：2017 年 8 月 29 日



被災地支援へ学生連携

東海防災サミット in 美浜の開催

中日新聞：2018 年 3 月 22 日

環境美しく 思い新たに

「びわ湖の日」各地で催し

外来植物の実態観察

琵琶湖外来水生植物除去活動の開催

朝日新聞：2017 年 7 月 2 日

No	活動名	メディア	日付
1	琵琶湖外来水生植物除去活動	朝日新聞	2017年7月2日
2	平成29年7月秋田県豪雨災害救援活動	秋田テレビ	2017年7月30日
3	とみおか夏まつり	読売新聞	2017年8月4日
4	長野県北信地域森林整備活動	abn長野朝日放送	2017年8月7日
5	静岡県西伊豆町活性化活動	静岡新聞	2017年8月8日
6	静岡県西伊豆町活性化活動	伊豆新聞	2017年8月8日
7	長野県北信地域森林整備活動	テレビ信州	2017年8月8日
8	静岡県西伊豆町活性化活動	静岡新聞	2017年8月15日
9	三重県熊野市熊野大花火大会活性化活動	ヨシクマ新聞	2017年8月19日
10	三重県熊野市熊野大花火大会活性化活動	紀南新聞	2017年8月19日
11	東日本大震災復興支援活動	河北新報	2017年8月26日
12	京都府阿蘇海環境づくり活動	京都新聞	2017年8月27日
13	京都府丹後広域振興局との包括協定	京都新聞	2017年8月29日
14	京都府丹後広域振興局との包括協定	産経新聞	2017年8月29日
15	京都府阿蘇海環境づくり活動	読売新聞	2017年8月28日
16	琵琶湖外来水生植物除去活動	読売テレビ	2017年9月9日
17	琵琶湖外来水生植物除去活動	朝日放送	2017年9月9日
18	琵琶湖外来水生植物除去活動	京都新聞	2017年9月10日
19	琵琶湖外来水生植物除去活動	中日新聞	2017年9月10日
20	琵琶湖外来水生植物除去活動	関西テレビ	2017年9月9日
21	山形県日本海清掃	荘内日報	2017年9月5日
22	団体紹介	こどもの国新聞	2017年9月1日
23	コウノトリ野生復帰のための湿地整備	読売新聞	2017年9月21日
24	琵琶湖外来水生植物除去活動	京都新聞	2017年12月18日
25	新潟県長岡市活性化活動	栃尾タイムス	2018年2月15日
26	静岡県西伊豆町活性化活動	中日新聞	2018年2月13日
27	新潟県関川村活性化活動	いわふね新聞	2018年2月18日
28	新潟県関川村活性化活動	いわふね新聞	2018年2月18日
29	長野県飯山市活性化活動	北信濃新聞	2018年2月17日
30	三重県熊野市活性化活動	吉野熊野新聞	2018年2月24日
31	三重県熊野市活性化活動	南紀新報	2018年2月24日
32	京都府阿蘇海環境づくり活動	京都新聞	2018年2月24日
33	京都府阿蘇海環境づくり活動	関西テレビ	2018年2月25日
34	静岡県西伊豆町活性化活動	中日新聞	2018年2月25日
35	三重県熊野市活性化活動	毎日新聞	2018年2月25日
36	三重県熊野市活性化活動	毎日新聞	2018年2月25日
37	長野県飯山市活性化活動	北信濃新聞	2018年2月17日
38	京都日本海清掃活動	朝日新聞	2018年3月5日
39	京都日本海清掃活動	産経新聞	2018年3月5日
40	東日本大震災復興支援活動	河北新報	2018年3月12日
41	新潟県十日町市活性化活動	毎日新聞	2018年3月13日
42	インド生活支援活動	現地新聞	2018年2月
43	インド生活支援活動	現地新聞	2018年2月
44	インド生活支援活動	現地新聞	2018年2月
45	インド生活支援活動	現地新聞	2018年2月
46	インド生活支援活動	現地新聞	2018年2月
47	インド生活支援活動	現地新聞	2018年2月
48	インド生活支援活動	現地新聞	2018年2月
49	インド生活支援活動	現地新聞	2018年2月
50	東海防災サミットin美浜	中日新聞	2018年3月22日

収支報告書（P/L）

（単位：円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　経常収益			
1　受取会費			
入会金	7,391,000		
学生会員受取会費	40,259,900		
その他の会員受取会費	490,000	48,140,900	
2　受取寄附金			
受取寄附金	2,568,013		
受取寄附金（募金）	683,909	3,251,922	
3　受取助成金等			
受取助成金	16,136,726		
受取補助金（業務委託収入）	12,326,187	28,462,913	
4　事業収益			
国内及び国外における、国際協力活動、環境保護活動、地域活性化活動、災害救援活動、子どもの教育支援活動等の社会貢献事	179,951,847	179,951,847	
5　その他収益			
受取利息	649		
雑収入	200	849	
経常収益計			259,808,431
Ⅱ　経常費用			
1　事業費			
(1)人件費	44,440,803		
(2)その他経費	163,874,259	208,315,062	
2　管理費			
(1)人件費	4,592,645		
(2)その他経費	25,615,856	30,208,501	
経常費用計			238,523,563
当期経常増減額			21,284,868
Ⅲ　経常外収益			
特になし		0	
経常外収益計			
Ⅳ　経常外費用			
為替差損	120,621		
経常外費用計		120,621	
税引前当期正味財産増減額			21,164,247
法人税、住民税及び事業税			150,000
当期正味財産増減額			21,014,247
前期繰越正味財産額			57,061,596
次期繰越正味財産額			78,075,843

貸借対照表（B/S）2018年3月31日現在

科　　目	金　　額		
Ⅰ 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	38,522,769		
棚卸資産	1,673,911		
前払い費用	80,000		
流動資産合計		40,276,680	
2.固定資産			
有形固定資産（車両）	557,511		
敷金	709,000		
リサイクル預託金	11,100		
特定資産（災害救援事業基金）	40,000,000		
固定資産合計		41,277,611	
資産合計			81,554,291
Ⅱ 負債の部			
1.流動負債			
未払金	1,568,116		
預かり金	215,332		
未払法人税等	150,000		
未払消費税	1,545,000		
流動負債合計		3,478,448	
2.固定負債			
なし		0	
負債合計			3,478,448
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		57,061,596	
当期正味財産増減額		21,014,247	
正味財産合計			78,075,843
負債及び正味財産合計			81,554,291

2018 年 7 月
発行・編集：特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）
〒 156-0051 東京都世田谷区宮坂 1-34-4 ザ・アゼリアハウス B-102
Tel/Fax 03-6751-2683　E-mail ivusa-office@ivusa.com